

国際油濁補償基金 ガウテ・シバートセン事務局長による表敬訪問について

この度、当協会は国際油濁補償基金(IOPCF)[※]のガウテ・シバートセン事務局長らの表敬訪問を受け、篠原理事長他が対応しました。その概要は以下の通りです。

【面談概要】

日付：2024 年 10 月 18 日（金）

場所：日本船主協会

出席者：(IOPCF) ガウテ・シバートセン事務局長、奥川政策担当官
(当協会) 篠原理事長、中村企画部長 他

面談の冒頭、篠原理事長は、シバートセン事務局長の当協会再訪に心からの歓迎の意を表するとともに、国際的な船舶油濁補償体制の維持・改善に向けた利害関係者との積極的な対話など、IOPCF 事務局の日頃からの尽力に謝意を示しました。

これに対し、シバートセン事務局長からは、日本は海運業や造船業をはじめ多くの海事産業が集積する主要な海事大国であり、引き続き同基金で重要な役割を担っていくことを期待する旨述べました。

この他、同事務局長からは、昨年以降に発生した主な船舶油濁事故とその対応、ダークフリート（影の船団）に対する実効的な安全確保に係る諸問題、そして早ければ 2027 年にも発効が見込まれる HNS 条約等について幅広く意見交換を行いました。



左から、シバートセン事務局長、篠原理事長

[※]タンカーからの特定の油流出事故等で船主の責任限度額を超えた汚染損害が発生した際、被害者への補償を行う国際機関。油受取人が拠出する補償基金を管理・運用している。

URL：<https://iopcfunds.org/>